

テンサイシストセンチュウの確認について

本年4月7日、愛知県東三河地域における生育不良のキャベツがあったほ場でテンサイシストセンチュウ（Hs）が確認され、愛知県から病害虫発生予察特殊報が発表されました。

●Hsについて

- ヨーロッパ、アメリカ等で発生している線虫で、キャベツ、ブロッコリー等のあぶらな属植物等*の地下部に寄生します。
*てんさいなどのふだんそう属やだいこん、トマト、ほうれんそう等
- 寄生された場合、養水分の吸収が阻害され、生育不良、地上部のしおれ等が見られ、減収を引き起こします。
- 農機具等に付着したHsを含む土壌の移動等により分散します。



キャベツの根に付着しているHs
※顕微鏡による拡大写真です



Hsによるつぼ枯れ状の被害が
確認された国内のキャベツ畑

●今後について

- Hsは、侵入後ただちに深刻な被害を生じさせるものではありません。
- 今後、発生状況を確認するための土壌採取を行いますので、御協力をお願いします。
- 予定しているキャベツ等の作付けは可能です。調査に伴う作付けの制限はありません。

【生産者の方にとっていただきたい対策】

- (1) まん延防止のため、使用した農機具等を移動する前に必ず泥を落とし洗浄を実施する。
洗浄水は他のほ場へ流入しないよう留意する。
 - (2) 栽培残さ及び収穫残さは圃場外へ搬出しない。
- Hsの早期発見のため、キャベツ、ブロッコリー等の生育不良があった場合は、以下の連絡先へお問合せください。

○連絡先

・愛知県東三河農林水産事務所農業改良普及課（0532-35-6552）

田原農業改良普及課（0531-22-0381）

・愛知県農業総合試験場 病害虫防除室（0561-41-9513）

・農林水産省名古屋植物防疫所（052-659-1357）